

平成28年 業種別労働災害発生状況

(平成28年10月末現在)

室蘭労働基準監督署

区分 業種別	平成28年			平成27年同期			対前年		業種割合	平成27年確定値		
	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	2	140 [46]	142 [46]		139 [37]	139 [37]	3	2.2	100.0	0	197	197
製造業		23 [5]	23 [5]		28 [8]	28 [8]	-5	-17.9	16.2		39	39
食料品		10 [3]	10 [3]		10 [5]	10 [5]			7.0		13	13
木材木製品		1	1				1	-	0.7			
窯業・土石		2	2		2	2			1.4		2	2
鉄鋼業		3	3		5 [1]	5 [1]	-2	-40.0	2.1		7	7
金属・機械		2 [1]	2 [1]		6 [2]	6 [2]	-4	-66.7	1.4		7	7
輸送用機械					1	1	-1	-100.0			3	3
その他の製造業		5 [1]	5 [1]		4	4	1	25.0	3.5		7	7
鉱業・土石採取業					2	2	-2	-100.0			2	2
建設業	1	23 [3]	24 [3]		25 [1]	25 [1]	-1	-4.0	16.9		35	35
土木工事業	1	6 [1]	7 [1]		6	6	1	16.7	4.9		11	11
建築工事業		11 [1]	11 [1]		11 [1]	11 [1]			7.7		15	15
木造建築業		3 [1]	3 [1]		5	5	-2	-40.0	2.1		6	6
その他の建設業		3	3		3	3			2.1		3	3
道路貨物運送業		10 [1]	10 [1]		9 [4]	9 [4]	1	11.1	7.0		12	12
その他の運輸業		2 [1]	2 [1]				2	-	1.4		2	2
陸上貨物取扱業					1	1	-1	-100.0			1	1
港湾荷役業								-				
林業		1	1		1	1			0.7		1	1
漁業		1	1		1	1			0.7		1	1
卸売・小売業		18 [11]	18 [11]		19 [7]	19 [7]	-1	-5.3	12.7		33	33
社会福祉施設		15 [7]	15 [7]		10 [3]	10 [3]	5	50.0	10.6		15	15
旅館業		6 [4]	6 [4]		9 [5]	9 [5]	-3	-33.3	4.2		10	10
清掃業		11 [5]	11 [5]		8 [1]	8 [1]	3	37.5	7.7		13	13
上記以外の事業	1	30 [9]	31 [9]		26 [8]	26 [8]	5	19.2	21.8		33	33

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものであり、[]内の数字は、転倒災害の件数で内数である。

本統計は、速報値であり後日修正されることがある。

本統計は、北海道労働局ホームページからダウンロードできます。

平成27年9月末現在の統計から、製造業の「その他」を「その他の製造業」に、建設業の「設備工事業」を「その他の建設業」に変更しました。

- STOP! 冬季災害
路面凍結を原因とする交通事故、屋根の除雪作業での墜落災害、一酸化炭素中毒災害等防止しましょう。
- 「北海道冬季災害ゼロてんとう防止運動」実施中 ～平成28年12月1日から平成29年3月31日まで～
- 「建設工事追い込み期労働災害防止運動」実施中 ～平成28年10月1日から平成28年12月31日まで～
- 平成28年10月1日から時間額786円に変わりました。
詳細は、北海道労働局ホームページで!



平成28年10月末 死亡労働災害事例

発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
8	12時台	教育・研究業	墜落・転落	屋根	台風10号の影響により、屋根の一部が剥がれていたため、状況を確認しようと屋根上に上がり移動していたところ、屋根のスレート板を踏み抜き墜落した。 頭部を強く打ちつけ、意識不明となっていたが、平成28年9月に死亡したもの。
9	13時台	建設業	激突され	移動式クレーン	被災者は、浮きクレーンのブームを定位置に置くため、船上でフックを仮置きする作業を行っていた。 フックの向きを変えるため、浮きクレーンのブームを下げた際、クレーンの下部に固定していた補巻用のワイヤーロープが緊張し、ワイヤーロープの取付金具が破断。 その反動でワイヤーロープが約30メートル先のフック付近にいた被災者の頭部に当たり、死亡したもの。

平成27年 死亡労働災害事例

発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>

平成27年 業種別労働災害発生状況

(平成27年確定版)

室蘭労働基準監督署

区分 業種別	平成27年			平成26年			対前年		業種割合	平成25年		
	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		197 [48]	197 [48]	2	193 [51]	195 [51]	2	1.0	100.0	5	212	217
製造業		39 [8]	39 [8]		32 [3]	32 [3]	7	21.9	19.8		33	33
食料品		13 [5]	13 [5]		8 [2]	8 [2]	5	62.5	6.6		16	16
木材木製品					1	1	-1	-100.0			1	1
窯業・土石		2	2		4	4	-2	-50.0	1.0		2	2
鉄鋼業		7 [1]	7 [1]		5	5	2	40.0	3.6		3	3
金属・機械		7 [2]	7 [2]		6	6	1	16.7	3.6		5	5
輸送用機械		3	3		4	4	-1	-25.0	1.5		2	2
その他の製造業		7	7		4 [1]	4 [1]	3	75.0	3.6		4	4
鉱業・土石採取業		2	2		1	1	1	100.0	1.0			
建設業		35 [4]	35 [4]		33 [3]	33 [3]	2	6.1	17.8	1	45	46
土木工事業		11 [2]	11 [2]		6	6	5	83.3	5.6	1	13	14
建築工事業		15 [2]	15 [2]		14 [1]	14 [1]	1	7.1	7.6		18	18
木造建築業		6	6		7 [1]	7 [1]	-1	-14.3	3.0		7	7
その他の建設業		3	3		6 [1]	6 [1]	-3	-50.0	1.5		7	7
道路貨物運送業		12 [5]	12 [5]		17 [1]	17 [1]	-5	-29.4	6.1		24	24
その他の運輸業		2 [1]	2 [1]		6 [3]	6 [3]	-4	-66.7	1.0	1	8	9
陸上貨物取扱業		1	1				1	-	0.5			
港湾荷役業								-			1	1
林業		1	1		1	1			0.5	1	2	3
漁業		1	1		1	1			0.5			
卸売・小売業		33 [9]	33 [9]		30 [18]	30 [18]	3	10.0	16.8	1	23	24
社会福祉施設		15 [5]	15 [5]		13 [1]	13 [1]	2	15.4	7.6		7	7
旅館業		10 [5]	10 [5]		12 [7]	12 [7]	-2	-16.7	5.1		12	12
清掃業		13 [2]	13 [2]		11 [3]	11 [3]	2	18.2	6.6		16	16
上記以外の事業		33 [9]	33 [9]	2	36 [12]	38 [12]	-5	-13.2	16.8	1	38	39

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものであり、[]内の数字は、転倒災害の件数で内数となっています。

本統計は、速報値であり後日修正されることがあります。

本統計は、北海道労働局ホームページからダウンロードできます。

平成27年9月末現在の統計から、製造業の「その他」を「その他の製造業」に、建設業の「設備工事業」を「その他の建設業」に変更しています。

死亡労働災害については、平成23年以来2回目の死亡ゼロ(確定値)を達成しました。
平成28年につきましても、自主的な安全衛生管理活動の推進により『死亡労働災害ゼロ』を達成しましょう。

- 厚生労働省では、転倒災害を撲滅するため、「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しております。
 - 北海道最低賃金は、平成27年10月8日より時間額764円です。
- 詳細は、北海道労働局ホームページで！



平成27年 死亡労働災害事例

発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>

平成26年 死亡労働災害事例

発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
6	13時台	病院	有害物等との接触	有害物	病院の浴場等に使用している温泉水の貯水タンク内で作業中、温泉水及び沈殿物から放出された硫化水素により中毒となり、作業員2名が死亡したもの。